

第28回

ごはん・お米 と わたし

作文・図画コンクール入賞作品集



「実りの秋」 山形市立第九中学校3年 栗野 幸智恵さん

平成16年2月

山形県農業協同組合中央会
山形県農協農政対策本部



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

会長 遠藤 芳雄

第二十八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募された皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

このコンクールは、お米・ごはん、稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、お米・ごはんが健康に結びつくことを見直してもらうとともに、食料・農業に対する関心や理解をより一層深めてもらうことを目的に実施しているものです。

二十八回を迎えた今回は、県内小・中学校から作文三五八点、図画一、三九〇点もの力作を応募いただきました。これらは、学校の先生方をはじめ、関係する方々のご支援の賜と感謝申し上げます。

皆さんの作品は、お米・ごはんを通じて家族の思いやりや、農業体験学習を通じた地域の人たちとの暖かい交流の様子、学校給食の友達との楽しいひと時などを通じて感じた気持ちを、素直に表現した作品ばかりでした。

これからも、素直な心で、日常の生活にある本当の豊かさ、楽しさ、おいしさに目を向け、それらを支えている多くの人たちの努力や工夫、知恵を発見し、感じとってください。

そして多くの人たちから受ける愛情への感謝の気持ちを忘れないうでください。また、自然を大切にする心、家族を大切にする心、

汗を流して働くことの充実感を、さらにはお米のおいしさを、すばらしさを忘れないでください。

日本が経済大国といわれるようになって久しいですが、豊かな生活の中で多くの大切なものを失いつつあります。食生活の面からみると食料自給率は四〇％で、先進国の中では最低の水準にあります。また、朝食の欠食などの食習慣の乱れや栄養バランスの偏りなど大きな課題とされておりあります。

私たちJAGグループは、国内で生産できる食料は国内で生産することを基本に、日本人の主食である米も、日本国内で生産し、いつの時代も安全で、安定して皆さんに供給できる仕組みを守っていく必要があると考えております。

また、お米を中心とした日本型食生活の推進とともに、「地産地消」や「食農教育」などに積極的に取り組むこととしております。特に、小・中学校における、地域農業の学習に対しましては、それぞれの地域の特徴を活かしながら、支援申し上げることとしております。ぜひ地元のJAにお声掛けいただきますようお願い申し上げます。

最後に、審査員の先生方をはじめ、コンクール参加についてご指導いただきました先生方やご父兄の皆さん、そして山形県ならびに各JAのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、このコンクールをますます発展させていただきまますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

第28回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

作文部門

● 1部 (小1年～3年)

山形県知事賞	平 理紗子	高島町立高島小学校	2年
山形県農協中央会会長賞	奥山 雅生	最上町立富沢小学校	3年
優 秀 賞	石山 加奈	最上町立富沢小学校	1年
	菅 凧沙	最上町立満沢小学校	2年
	伊藤 匠平	最上町立大堀小学校	2年
	渋谷 生帆	鶴岡市立朝暘第六小学校	3年
	清野 真希	鶴岡市立朝暘第六小学校	3年

● 2部 (小4年～6年)

山形県知事賞	石山 涼	最上町立富沢小学校	5年
山形県農協中央会会長賞	守岡 雄朗	鶴岡市立朝暘第二小学校	4年
優 秀 賞	今井 大輔	鶴岡市立朝暘第二小学校	4年
	菅井美香子	村山市立楯岡小学校	5年
	五十嵐由香	鶴岡市立京田小学校	5年
	大池 響子	米沢市立南部小学校	5年
	阿達 大和	最上町立満沢小学校	6年

● 3部 (中1年～3年)

山形県知事賞	渡部 沙紀	朝日村立朝日中学校	1年
山形県農協中央会会長賞	工藤 瑞穂	東根市立大富中学校	3年
優 秀 賞	稲垣茉里香	長井市立長井南中学校	1年
	土方 花重	鶴岡市立鶴岡第二中学校	2年
	南齋 宏駿	米沢市立第一中学校	2年
	貝田 理沙	山形市立第三中学校	2年
	宮崎加奈子	朝日村立朝日中学校	3年

● 学校奨励賞

最上町立富沢小学校
朝日村立朝日中学校

図画部門

● 1部 (小1年～3年)

山形県知事賞	笹原 瑞紀	尾花沢市立常盤小学校	1年
山形県農協中央会会長賞	蛸井 葉月	鶴岡市立大泉小学校	1年
優 秀 賞	阿部 翼	最上町立赤倉小学校	1年
	高野 陽希	最上町立富沢小学校	1年
	木村さえり	鶴岡市立上郷小学校	2年
	高橋 龍星	大石田町立田沢小学校	2年
	本間 円	尾花沢市立鶴子小学校	2年

● 2部 (小4年～6年)

山形県知事賞	乙坂ひかり	温海町立温海小学校	6年
山形県農協中央会会長賞	難波 紗矢	朝日村立朝日小学校	5年
優 秀 賞	佐藤真理絵	温海町立温海小学校	6年
	小内 将弘	尾花沢市立常盤小学校	6年
	鈴木 結	藤島町立長沼小学校	5年
	國分 雅哉	尾花沢市立名木沢小学校	4年
	須田 琳子	鶴岡市立栄小学校	4年

● 3部 (中1年～3年)

山形県知事賞	高島 絵理	山形市立金井中学校	1年
山形県農協中央会会長賞	板垣 友也	山形市立第九中学校	2年
優 秀 賞	日下部まどか	山形市立金井中学校	1年
	設楽なつみ	山形市立金井中学校	2年
	清野 美香	山形市立金井中学校	2年
	伊藤 歩	山形市立金井中学校	2年
	吉田真優美	山形市立金井中学校	2年

● 学校奨励賞

温海町立温海小学校
山形市立金井中学校

全国審査における入賞者

○農林水産大臣賞

(図画・3部) 栗野幸智恵 山形市立第九中学校 3年

○全国農業協同組合中央会会長賞

(図画・2部) 伊藤 拓也 朝日村立朝日小学校 6年

○学校奨励賞

山形市立第九中学校

○優 秀 賞

(作文・1部) 平 理紗子 高島町立高島小学校 2年

(作文・2部) 石山 涼 最上町立富沢小学校 5年

(作文・3部) 渡部 沙紀 朝日村立朝日中学校 1年

「実りの秋」



山形市立第九中学校 3年 粟野 幸智恵

■農林水産大臣賞■



朝日村立朝日小学校六年

伊藤 拓也

「思いきりかるぞ！」

■全国農業協同組合中央会会長賞■

■山形県知事賞■

「おにぎりだいすき」

尾花沢市立常盤小学校一年

笹原 瑞紀



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「おじいちゃん、田うえじょうずだね」

鶴岡市立大泉小学校一年

蛸井 葉月



■山形県知事賞■

「結び方はこうやるんだよ」

温海町立温海小学校六年

乙坂 ひかり



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「力を合わせて米づくり」

朝日村立朝日小学校五年

難波 紗矢



■山形県知事賞■

「仲良しの兄弟とあり」

山形市立金井中学校一年

高 島 絵 理



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「収穫」

山形市立第九中学校二年

板 垣 友 也



■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「おばあちゃんのおにぎり、大好き！」

高島町立高島小学校二年 平 理紗子

「りさ子、おにぎりくうか？」

わたしのおばあちゃんは、よくわたしにこう言います。

わたしがあまり夕ごはんを食べなかつたりすると、かならずおばあちゃんは、おにぎりをにぎってくれます。なぜかおばあちゃんのおにぎりだとたくさん食べられます。

おばあちゃんのおにぎりは、みそがついてます。ときどきおにぎりにのりをつけてくれます。ふりかけあじのときもあります。食べやすくしてくれます。おばあちゃんのにぎってくれるおにぎりは、コンビ二のおにぎりは、ちがうまほうのおにぎりです。おばあちゃんは、「まほうのおにぎりを食べると大きくなるよ。」

と言ってくれました。まほうがかかっているおにぎりは、とてもおいしいです。どうやってまほうをかけてるのか

なあと思います。

おかあさんは、

「おばあちゃんのあいじょうだよ。」
と言っています。

もう一つおいしい理ゆうがあります。それは、お父さんのお父さんとおかあさんがつくってくれるおこめだからです。長さわのいえの前には、田んぼがあつてそこできとれるお米です。長さわのいえのはたけでとれたやさいをおかずにする、ごはんがおいしくなります。長さわのおじいちゃんやおばあちゃんは、年よりなのにわたしたちのためにがんばっているからこそごはんがおいしいのだと思いました。がんばってる人のためにもせいっぱい今よりもすきらいをなくしていっぱいごはんを食べたいです。

わたしは、パンやそばもすきだけど、かぜをひいたときやりよ行に行ったときは、やっぱり、おばあちゃんのおにぎりです。おにぎりを食べると元気がわいてきます。これからおねがいね。おばあちゃん。

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「田うえのお手伝い」

最上町立富沢小学校三年 奥山 雅生

ぼくは、ごはんをたくさん食べます。ごはんを食べすぎて、お母さんやばあちゃんから、

「あと食べねんだわあ。」

とよく言われます。そのくらい、ごはんが好きです。

ぼくの家では、お米を作っています。五月に、田うえの手つだいをしました。お父さんから、

「はこあらいしてけろ。」

と言われたので、大きなブラシでごしごしときれいになりました。田んぼのわきで、ぼくと仙台のいとこのたぐみとがんばってあらいました。水はとてもつめたかったです。はこの中には、ときどきくもいきました。

次に、田んぼの中に入っていたじいちゃんから、なえを五本ずつもらって、うえてみました。田んぼの中はどろで、長ぐつがうまってしまつて、足がとれなくなつて

しまいました。でも、なえはまつすぐにうえられました。その時じいちゃんは、きかいでうえられていないところを、上手にあつという間にうえてしまいました。ぼくは、「じいちゃん、すごいな。」と思いました。

田うえが終わると、すぐ次の仕事です。ハウスの紙テープほどきです。組み立てていたハウスはすぐにかたづきました。家族みんなですると、仕事も早くできるし楽しいです。お父さんから、

「まさ生が手伝ってくれたから、早くおわつた。いがつたなあ。」

と言われたので、うれしかったです。

ときどき、じいちゃんといっしょに田んぼを見に行きます。今年の夏は、あまりあつくないので、お米がとれるか心配していました。ぼくが田うえを手伝った田んぼは、秋になってお米がいつぱいとれるといいなあと思います。そして、ぼくのすきな、白いごはんをいつぱい食べたいです。

■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「じいちゃんがんばれ」

最上町立富沢小学校五年 石山 涼

ぼくは、平成四年九月四日に生まれました。石山家では、四十八年ぶりの男の子のたん生に、家族全員、大喜びだったそうです。

ぼくが一才になる年、平成五年は、記録的な寒い夏といわれ、お米がまったたく取れない年でした。じいちゃんもばあちゃんも、

「食うくらいは取れるといいな」

と言って、もみを取ったそうですが、米は一つぶも入っていないで、がっかりしたそうです。

ぼくのじいちゃんは、米作りの名人です。朝早くから夕方おそくまで、田んぼで仕事をしています。変な虫がついていないか、病気になっていないか、水の深さはどうか、など、小さな変化にも気を配っています。そんなじいちゃんを見ると、本当に心をこめて作っている

んだなあということがわかります。そんな米だからこそ、じいちゃんは、自信を持って出荷することができるのだと思いました。

ぼくが、

「じいちゃんの米は、最高にうまいや。」

と言うと、じいちゃんは、

「んだが、んだが、うんまいが。いがった、いがった。」

と言って、とてもうれしそうです。米を売ったお客さんからもらった「おいしかった。」という内容の手紙も、何度も何度も読み返しては、喜んで、大切にしまっています。

じいちゃんは、春から秋にかけて、とにかくおいしいお米を作ること、一生けん命です。おいしいお米ができることが、じいちゃんにとっての一番の幸せだと思います。

だけど、今年のじいちゃんは、少し元気がありません。原因は、今年の夏の天候です。今年の夏は、夏らしくなく、気温が低かったのです。なえの育ちがおそく、いなほもまばらにしかでないのです。心配だそうです。これから天気が続いて、少しでもたくさんのお米が取れるといい

など、ぼくは思いました。

ぼくは、じいちゃんの姿を見てきて、農家をつぎたいと考えています。いい時も大変な時もあるけれど、とてもやりがいのある仕事だと思えます。

妹の穂菜美は、平成六年に生まれました。この年は、大豊作の年で、いねの穂が、こがね色に輝いていたそうです。穂菜美という名前は、この時の田んぼの様子からつけられたそうです。来年こそは、そんな年になればいいと思います。

これからも、じいちゃん、がんばれ。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「お米の声を聞きながら」

鶴岡市立朝陽第二小学校四年 守岡 雄朗

ぼくのうちでは、毎年夏休みにキャンプに行きます。今年秋田に行くことになりました。秋田は、山形の真上にあるので、近いのかなあと思っただけ、思ったより遠く感じました。初めに、じゅんさい沼キャンプ場に行きました。山形県のすぐ北のところで、二時間半くらいで着きました。

じゅんさい沼キャンプ場の二日めの朝、お父さんから、「雄朗、ごはん作れ。」

と言われました。ぼくは、今まで水くみや食器洗いの仕事しかしたことがなかったので、どうしたらいいのかわからなくて、

「ええ、できねえ。」
 と言ってしまいました。

でも、お父さんから教えてもらって、何となくわかっ

てきました。お父さんが、お米を四合計って、はんごうに入れてくれました。ごはんをたく前に、お米を水で洗います。一回目では、水は白くにごっていますが、それを七、八回もやったら、水がすきとおってきれいになりました。水かげんは、米を平らにして、子どもで中指の第二かんせつまでだと、お父さんに教えてもらいました。

はんごうをグリルにかけて、

「まだかなあ、まだかなあ。」

と言いながら、白いゆげが出てくるのを待ちました。やっ
 と白いゆげが出てきた時は、うれしくて、中がどうなっているか見たくて見たくて体がうずうずしました。でも、

「赤子泣いても、ふた取るな。見ちゃだめ。」

と、お母さんから言われました。

それから、お母さんからよばれて、木のえだをさがしました。お母さんが、それをはんごうのふたにつけていたので、何をしているのか聞いたら、

「お米の声を聞いている。」

と言いました。ぼくもやってみたら、えだをつたって耳にグツグツと音がして、手にも、しん動がつたわってき
 てびっくりしました。

グツグツが聞こえなくなるとでき上がりです。何回も聞いて、やっとしずかになつてから火から下ろしてむらしました。おこげのいいにおいもしました。おなかがぺこぺこで、

「まだあ。はらへったあ。」

と、何回も何回も言っていました。

いよいよ開けていいよと言われて、ふたを取ってみると、はんごうの中にぎっしりと白いごはんがありました。見た目は、とてもいいごはんだけど、問題は味です。でも、みんなおいしいと言ってくれて、とてもうれしかったです。本当においしいごはんでした。

はんごうについたおこげも、お湯ではがして、たまごスープを入れてたまごぞうすいにしました。おこげに、こんな食べ方があったなんて知りませんでした。さいごの一つぶまでおいしかったです。



■全国優秀賞■ ■山形県知事賞■

「父、尊敬！」

朝日村立朝日中学校一年 渡部 沙紀

「あれ。あの車お父さんのっばい。」

いつものように家へ帰るとちゆう、父の車が通るのを見かけた。(ラッキー。乗せてってもらおっと。)と思い、父の車を追いかけていった。父の車は、家の田んぼの前にとめてあった。そこには父の姿はなくキョロキョロ探すと、父は田んぼの稲を自分の目でよく見ていた。今年のできばえを確かめるように。そこにはいつもの私達をさむいギャグで笑わせてくれる父とはまったくちがう、真面目で真剣で長年米作りをしてきた父の顔があった。それから父は水の量を見たり、いろいろなところをぬかりなく見ていた。

「お父さん。ごくろうさま。」

「おお沙紀、今帰りだが。」

「うん。お父ってやあ、これ毎日やってんあんろ。大変じゃ

ね。」

「そうか？あど慣れだし、今だと米作んな楽しいぞ。」

「うそ？つていうがあぎねえ？毎日やって。」

「そりゃちよつとはあるけど、でも稲も成長してっはげ見んな楽しいぞ。それに、毎日やんねえど、うめ飯くえねえろや。ひとつひとつ大事だがらやりがいもたくさんあつし。んで沙紀達さうめ飯くってもらつて力つけてもらいでの。」

家に帰ってベッドにころがると父の言葉がでてきた。(あんま考えねえけど、お父さんがんばってるよな。おい達さごはん食べさせるために。)その時、あらためて父のがんばりがわかった気がした。

考えてみると止まらないくらいどんどん父のすごい所、がんばりがあふれでてる。毎日毎日、私よりもはやく家を出て仕事にいき、私よりおそくに帰ってくる。休日だって、田んぼにぶどう、畑の世話。地区の役員だつてこなし、今思えばぶつたおれてもおかしくないハードな日常をこなし、ましてそれを楽しいと本人はいつている。(すごすぎだ！父。)

なのに私は……。いつもいつも別にやることもないの

に父からの仕事をめんどくさがりやるといっては、はやくおわりたいたいとばかり思い、のらりくらりとやっていた。その上あんなにがんばっている父に対して、うるせえとかそんな言葉ばかりいって。どうしてこんな風にいつちやうんだらう。自分が情けなくなつた。人をけなすことはいくらでもできるけど人をほめることってほんとむずかしいとそのときつくづく思った。

その夜の夕ごはん。白いごはんをなにもかけずに食べてみた。ほかほかなごはんは父の愛情がたっぷりはいっていてすごくおいしかった。(こんなにおいしいのは、お父さんが一生懸命、汗水たらしながら毎日世話してあげたからだらうな。)

「うまい！うちの米が一番うまいね。」

「ありがとう。」

「ごくろうさまです。これからもよろしく。」

「これからも、うめ飯食わせっはげ、いっぺ飯食えよ。」

「うん！」

そう言ってくれた父の顔はめずらしいことを言うもんだとおどろいていた。でもちよつと照れているその笑顔の中に(毎日の苦労を沙紀がわかってくれてんだな。)

いう気持ちが含まれていることを私は見のがさなかつた。

私は毎日毎日、いくら家族のためとはいえあんなに手間のかかる仕事をひとつも手をぬかずにやってくれる父を尊敬している。でもそれを父だけにさせるのは大変そうだ。だから私は、たくさんのエネルギーをくれる父のごはんを父と一緒に作っていきたい。

私はこれからも父の愛情でみちあふれたごはんを一粒残らず食べて大きく、のびのびと成長していきたい。

父の作ったごはんは世界一うまい!!



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「私のエネルギー源」

東根市立大富中学校三年 工藤 瑞穂

私は丈夫な身体を持っていると自負しています。見た目は小柄で、腕や手首はクラスの他の子達に比べたらかなり細く、どちらかというと吹けば飛んでしまう様に見えるかもしれませんが。しかし、中学校に入学して以来、病欠はありません。基礎体力にも自信があります。

その理由は、運動と食事にあります。特に食事には、かなり気をつけています。私は三歳からバレエを習い始めました。最初は、ただ体を動かす事が好きで楽しく練習をしていましたが、どんどん夢中になり、「より美しくより確かな技術を持つて踊りたい。」と思うようになり、その思いに比例するように練習はハードなものになりました。今では、学校が終わると、走って家に帰り、早めの夕食をがっちり食べて練習に向かいます。帰って来るのは十一時過ぎになることもあります。中学生の

本分である勉強は、それからです。華麗に見えるバレエの舞台裏は、想像以上にハードなものです。日々の肉体と精神の鍛練から、非日常的な美しい舞台ができるのです。その美しい舞台を作る為に、日頃から美しい身体と精神、十分な体力を作っていかなければなりません。その為に、毎回の食事にも真剣に向かい合います。私のパワ－の源は、しっかりと食べる三度の食事なのです。

バレエと言えば、細身の身体からダイエットを想像する人が多いかも知れません。トウシューズを履いてつま先で立ち、跳んだり回ったりする為には、必要以上に太ることは厳禁です。ただ、跳躍、回転、バランスと次々とこなす為には、ある程度のパワーと鋼のような筋肉が必要なのです。美しい身体を作り、美しく踊る為にも、一回一回の食事をきちんと取ること、体力をつけることは、とても大切な事なのです。

では、どのような食事を取るように心がけたら良いのか？答えは、意外に簡単でした。

最もきれいで体にいいカロリー源である炭水化物をきちんと摂ること。つまり、「ごはん」を中心に、日本の風土に適した食べ物を食べる。そして必要以上に脂や糖

分を摂らないことです。「ごはん」は、私にとって、最も手に入れやすく、体に合ったエネルギー源なのです。脂肪やタンパク質は、大豆から作られるみそを使う「みそ汁」（しかも我が家は具たくさん!!）と一緒に食べる事で効率よく補える仕組みなのです。

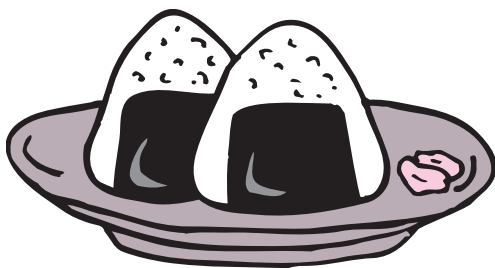
「どうして、いつもそんなに元気なの？」

と友達に言われる事があります。私の元気の源は「ごはん」にあるのです。「ごはん」をきちんと食べる事で、命を丁寧に紡いでいる気分になり、一生懸命に生きよう、頑張ろうという気持ち湧いてきて、朝から元気に笑えるのです。体力も気力も充実させるためには、体にエネルギーが満ちあふれている事が大切だと思います。

最近、科学技術やサッカー、プロ野球選手等、様々な分野で日本人が目覚ましい活躍が見られます。記憶に新しいニュースでは世界水泳でのメダルラッシュ。その様な素晴らしい力を培ってきたのは、バランスのとれた食事に違いありません。「ごはん」中心の食事は本来人間に必要な栄養をバランスよく摂ることができるからです。学問・スポーツ・政治経済もきちんとした食事によって支えられてきたのだと思います。

物が豊富になり、外国の食べ物やインスタント食品、スナック類など手軽に食べることができるエネルギーが溢れている時代ですが、燃料の入れまぢがい積み重ねることによって、なんとなく元気がなく、いつもだるそうだったりして、本来持つ能力を発揮できない人もいるのではないかと思います。

私は、日本の優秀な栄養源である「おこめ」を食べることで、より健やかに、より美しく成長してゆきたいと思います。



作文部門審査講評

山形市立第三中学校教諭 伊藤 恵美子

第二十八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作文部門には、県内小中学校より六十校、三五八名の応募がありました。全国審査では、三点が優秀賞を受賞しました。おめでとうございませう。

作品それぞれから、家族愛、農家の方々が精魂こめたお米の尊さ、自然の恵みへの感謝、心と体を育む食の大切さが伝わってきます。それは体験がいきいきと綴られているからです。五感（視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚）を十分はたらかせてとらえていることを、素直に豊かに表現しています。借り物ではない自分の言葉で、「私ならでは」の作品に仕上がっているのが印象的です。

第一部（小学校一年生から三年生）

○「おばあちゃんのおにぎり、大好き！」（高島町立高島小学校一年・平理紗子・県知事賞）は、同居のおばあちゃんと長さわのおじいちゃん・おばあちゃんへの感謝の気持ちを書かれています。おばあちゃんのおいしい味付けいっぱい「まほうのおにぎり」をほおばりたくなる作品です。

○「田うえのお手伝い」（最上町立富沢小学校三年・奥山雅生・県農協中央会会長賞）は、自分の家の田うえの手伝いの様子が、効果的な会話も入れて書かれています。なえうえ、じいちゃんの手先なうえ方、ハウスかたづけなどを通して、家族みんなが協力し合いながら仕事をする尊さや喜びが伝わります。

第二部（小学校四年生から六年生）

○「じいちゃんがんばれ」（最上町立富沢小学校五年・石山涼・県知事賞）は、石山家に四十八年ぶりに生まれた男の子として、「農家をつぎたい。」と決意する内容の作品です。それは、「米作りの名人であるおじいちゃん」のおかげです。妹の「穂菜美」さんの名は、誕生した年の黄金色に輝く田の美しさからつけられたそうです。心に残るエピソードで構成されています。石山家の繁栄を祈りたくなる作品です。

○「お米の声を聞きながら」（鶴岡市立朝陽第二小学校四年・守岡雄朗・県農協中央会会長賞）は、「さいこの一つぶまでおいしかったで

す。」の、最後の文まで一気に書かれています。「お米の声を聞いている」というお母さんの言葉。「えだをつたつて耳にグツグツと音がして、手にも、しん動がたわつてきてびっくりしました」等、飯ごう炊飯で発見したお米のすばらしさが臨場感をもって描かれています。

第三部（中学校一年生から三年生）

○「父、尊敬！」（朝日村立朝日中学校一年・渡部沙紀・県知事賞）には、田んぼの稲を真剣に見ている父の姿をみつけ交わした話から、改めて父親の「すごさ」を感じて尊敬の念を深くする様子が書きこまれています。同時に、自分を見つめ直し、一歩大人に近づいた成長がストレートに表現されています。

○「私のエネルギー源」（東根市立大富中学校三年・工藤瑞穂・県農協中央会会長賞）は、バレエレッスンを励む日々にあつて、体力づくりとエネルギー源としての食の関係を考えている作品です。人間が夢や希望を叶えるには、それにふさわしい栄養摂取が求められます。小柄ながら丈夫な体をもっているという自負できるまでに至った経過を振り返りながら、栄養バランスのとれた食と運動の大切さを説いています。そうして、日本人と「ごはん」の強い結びつきへと思考が広がっています。

県学校奨励賞は、最上町立富沢小学校と朝日村立朝日中学校が受賞しました。おめでとうございました。

「ごはんとお米」は、私たちの生存に欠かせません。極言すれば、日本の国と人々の創造の中核をなしてきた宝物です。有って当たり前のようなもののほど、じっくりと味わったり凝視したり再考したりしてみると、真価を発見できます。そこに驚きと感動が生まれるはず。日常の何気ないところにあるごはんとお米に関することがら（情報）を収集することをすすめます。生活体験（見聞）、テレビや新聞、雑誌や本、インターネット等からたくさん集められるでしょう。そうして、「ごはん・お米とわたし」をテーマに書くとうると、今までとは違う見方や考え方ができます。多様な視点と掘り起こしから、個性豊かな内容といきいきとした表現の作品が、これまで以上に書かれることと思います。期待しています。

評 講 査 審 門 部 画 図

修 田 相 長 校 長 中 学 校 立 市 形 山

第二十八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール図画部門には、県内一〇五校より一、三九〇点の作品応募がありました。その中から、全国審査で山形市立第九中学校三年の栗野幸智恵さんの「実りの秋」農林水産大臣賞、朝日村立朝日小学校六年の伊藤拓也さんの「思いきりかるぞー」が全国農業協同組合中央会会長賞、そして山形市立第九中学校が学校奨励賞を受賞しました。誠にありがとうございます。

県審査の結果と入賞作品、学校奨励賞の紹介をいたします。

第一部（小学校一年生から三年生）

○「おにぎりだいすき」（尾花沢市立常盤小学校一年・笹原瑞紀・県知事賞）は、実に大胆なタッチでおいしいおにぎりを友だちと仲良くほおばる様子を見事に表現してくれました。斜めに描かれた二人の様子からだいすきなおにぎりに対する瑞紀さんの温かな思いと友だちへの優しい気持ち伝わってきます。見た人の心までなごませてくれる元気で温かな作品です。

○「おじいちゃん、田うえじょうずだね」（鶴岡市立大泉小学校一年・蛸井葉月・県農協中央会会長賞）は、画面いっぱい葉月さんのおうちの田んぼが広がります。まん中で力強く作業しているのは葉月さんのおじいちゃんでしょう。子どもらしい発想で独特な作品に仕上げられました。春ののどかな田園風景をのびのびとしかもていねいに表現してくれました。すがすがしい実にさわやかな作品です。

第二部（小学校四年生から六年生）

○「結び方はこうやるんだよ」（温海町立温海小学校六年・乙坂ひかり・県知事賞）は、学校で稲刈りの実習をしたのでしょうか。きつと地域の方が稲の結び方をやって見せているのでしょうか。それを見つと見る子どもたち。真剣な様子が画面から伝わってきます。中心になる稲に自然に視線が向くように構図が工夫されています。また、透明感のある色を重ねて奥行きがよく出るように工夫されています。農作業に対して興味を持って取り組もうとする意欲を感じられる作品です。

○「力を合わせて米づくり」（朝日村立朝日小学校五年・難波紗矢・

県農協中央会会長賞）は、家族総出で田植えをしているのでしょうか。だれもが真剣に田植えをしている雰囲気一人ひとりの表情で伝わってきます。木版画で動きのある、しかも表現豊かな画面を表現することができました。田植えをした時の強い印象が画面に素直に出ています。堀を工夫しながら田の水の様子を見事に表現しています。画面全体から力強さを感じる作品です。

第三部（中学一年生から三年生）

○「仲良しの兄弟とあり」（山形市立金井中学校一年・高島絵理・県知事賞）は、家族総出で稲刈りを行う姿がほのぼのと表現されています。兄弟が落としたりおにぎりに集まる蟻たち、そしてそれを見守る仲良し兄弟の軟らかい表情が印象的です。また、刈り取った稲を運ぶお母さんの表情にも収穫の喜びが感じられます。お米のありがたさを感じる作者の温かい気持ちが伝わってくる作品です。

○「収穫」（山形市立第九中学校二年・板垣友也・県農協中央会会長賞）は、ひとりで黙々と稲束を集めるおじいちゃんの姿を温かな眼で見つめ、描いた作品です。稲ぐいの稲をていねいに一束一束描いています。また、全体の色調も黄金色に統一されており、素朴な農村の田園風景がうまく表されています。

県学校奨励賞は、温海町立温海小学校と山形市立金井中学校が受賞しました。おめでとうございました。

図工・美術の授業時間が少なくなるなか、この「ごはん・お米とわたし」の作文・図画コンクールの図画部門への応募校数も作品応募点数も増加しています。表現されている内容では、稲作に取り組む真剣な姿や家族の協力の様子、それを取り巻く自然の美しさ。また、収穫されたおこめを心を込めて調理している様子、さらにはおいしそうに食べている自分や家族の姿など多様に、どれも生き生きと表現されています。学校での体験学習の充実やコンクール応募を機会として深く考えたり、改めて見つめ直している児童・生徒の真剣な姿が見えてくるようです。

第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回
<p>●県知事賞 三浦 春菜(鶴岡市) 黒坂 星児(最上町) 萩原菜ツ美(高島町)</p> <p>●県中央会会長賞 大石 美恵(最上町) 菅 喜美広(最上町) 森谷さとと(天童市)</p> <p>●優秀賞 阿部 裕子(尾花沢市) 菅原 南(鶴岡市) 高橋 隆浩(高島町) 加藤 梓(鶴岡市) 藤畑 康宏(最上町) 佐藤 秀樹(最上町) 奥山 恵里(最上町) 石山 崇人(最上町) 阿部 留佳(朝日町) 菅 晃菜(最上町) 島津 智子(高島町) 佐藤真寿美(高島町) 阿部 哲(南陽市) 伊藤 千尋(朝日村) 小川 結(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 高島町立第一中学校</p>	<p>●県知事賞 加藤 梓(鶴岡市) 加賀 知世(尾花沢市) 村山 直美(天童市)</p> <p>●県中央会会長賞 橋本 菜穂(最上町) 原田 久美(最上町) 小座間裕子(天童市)</p> <p>●優秀賞 岸 健一朗(最上町) 山田 寿広(最上町) 大石 美恵(最上町) 後藤 明美(高島町) 近野 健二(高島町) 大場 哲也(最上町) 石山 雄洋(最上町) 石山満理奈(最上町) 佐藤 康徳(米沢市) 斎藤真貴子(朝日村) 氏居 生良(山形市) 前田 恵美(山形市) 中嶋 桃子(山形市) 原田 優子(天童市) 五十嵐小夜子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 高島町立屋代小学校 天童市立第二中学校</p>	<p>●県知事賞 鈴木 裕美(高島町) 堀 文子(酒田市) 高梨 邦拓(高島町)</p> <p>●県中央会会長賞 小松 主音(高島町) 柴田 育恵(大石町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 駿佑(米沢市) 吉田 洋平(高島町) 矢口 渡(鮭川村) 大場 智美(最上町) 奥山 恵里(最上町) 鈴木まりこ(山形市) 小山田由起子(河北町) 菅 晃太(最上町) 佐藤 舞子(米沢市) 伊藤理恵子(米沢市) 阿川 麻里(山形市) 東海林 宏(山形市) 中鉢 佳奈(天童市) 佐藤 紘子(朝日村) 清野 美幸(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 高島町立和田小学校 天童市立第二中学校</p>	<p>●県知事賞 加藤 映(鶴岡市) 菅 晃太(最上町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 恵里(最上町) 有川 聡美(村山市) 柿崎 真吾(山形市)</p> <p>●優秀賞 赤松かおり(最上町) 佐藤 夏佳(最上町) 岩瀬 直紀(高島町) 菅原美由紀(米沢市) 阿部 達也(立川町) 安達 聖澄(山形市) 青山 光(山形市) 奥山 佳希(最上町) 佐藤 一貴(立川町) 荒木 恵(鮭川村) 土屋 秀憲(山形市) 高橋 祐也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 山形大学教育学部附属中学校</p>	<p>●県知事賞 佐々木歩惟(最上町) 有川 聡美(村山市) 森 直子(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 萩原 晴菜(高島町) 須貝 尚之(最上町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p>●優秀賞 情野 亮(米沢市) 柴田いくえ(大石町) 石山 雄洋(最上町) 後藤 卓也(最上町) 曾田 健(山形市) 菅 晃太(最上町) 庄司早也香(最上町) 二戸奈央子(最上町) 渋谷 昌宏(立川町) 五十嵐江利(朝日村) 今野小百合(米沢市) 鈴木 一恵(米沢市) 土肥 由実(米沢市) 小座間恵美(天童市) 田中 文(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校</p>	<p>●県知事賞 鈴木美佐登(山形市) 土江 麻代(最上町) 安部 祥子(高島町)</p> <p>●県中央会会長賞 渡部みゆき(高島町) 渋谷 昌宏(立川町) 田中 千鶴(山形市)</p> <p>●優秀賞 斎藤有貴子(鶴岡市) 斎藤 美香(立川町) 押切 一(最上町) 渋谷 奈央(立川町) 大場 知佳(最上町) 大沼喜世美(最上町) 菅 千恵(最上町) 阿部英里香(最上町) 大谷 房子(最上町) 高橋 誠(最上町) 片桐 由嗣(山形市) 会田 雄介(山形市) 今野ひとみ(山形市) 鈴木加奈子(小国町) 伊藤 知行(小国町)</p> <p>●学校奨励賞 立川町立清川中学校 小国町立玉川中学校</p>
<p>●県知事賞 本間 裕紀(尾花沢市) 飛渡 沙織(大石町) 菊池 佳子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 遠藤 美佳(尾花沢市) 渡部 達(朝日村) 佐藤 瑠子(山形市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 由貴(尾花沢市) 渡部みなみ(高島町) 荒木 渚(鮭川村) 横山 浩輔(尾花沢市) 高橋 真美(最上町) 北條 隆大(最上町) 星川 瑠美(尾花沢市) 小野 貴紀(尾花沢市) 高橋 梨絵(最上町) 庄司 修(最上町) 溝越 清美(山形市) 公平 央恵(米沢市) 小野 展裕(山形市) 武田 彩子(山形市) 吉田由紀子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 渡邊 克也(最上町) 有路 沙織(尾花沢市) 菊池 佳子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 大山 和(尾花沢市) 高橋 雄太(尾花沢市) 會田 恵里(山形市)</p> <p>●優秀賞 須藤 賢東(山形市) 古瀬 友香(尾花沢市) 伊藤 敏彦(尾花沢市) 岡野 浩美(最上町) 加地華南子(高島町) 花輪みゆき(天童市) 笹原可奈子(尾花沢市) 五十嵐隆介(尾花沢市) 古瀬智佳子(尾花沢市) 武田ゆかり(尾花沢市) 高橋 栄(山形市) 栗原 美穂(山形市) 阿部 誠司(山形市) 丹 奈帆子(山形市) 寺崎 久世(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第五中学校</p>	<p>●県知事賞 大類 祐美(尾花沢市) 白井 靖浩(尾花沢市) 斎藤 明子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 深瀬 美幸(高島町) 岩松 泉(山形市) 有路 奈央(大石町)</p> <p>●優秀賞 森谷 雄太(山形市) 長岡 希(山形市) 小林 龍宏(尾花沢市) 土屋 引一(南陽市) 工藤 誠昭(朝日村) 齋藤 啓(大石町) 加藤 初恵(尾花沢市) 奥山 和泉(尾花沢市) 岡野 咲子(最上町) 渡部 禎子(南陽市) 原田 沙樹(山形市) 池野まり子(山形市) 入間 利恵(高島町) 青柳みちよ(高島町) 阿部 陽一(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 山形市立第四中学校</p>	<p>●県知事賞 伊藤 桃子(尾花沢市) 高橋 裕(最上町) 竹俣 太郎(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 樋口 裕斗(最上町) 高橋 一輝(尾花沢市) 武田由美子(山形市)</p> <p>●優秀賞 荒澤 雄太(山形市) 加藤 浩太(尾花沢市) 向田絵梨子(白鷹町) 白旗 典大(鶴岡市) 安野 妙子(鶴岡市) 大石 圭美(天童市) 長南 清香(朝日村) 鈴木 洋子(尾花沢市) 鈴木 雄太(尾花沢市) 島津 展子(高島町) 松田多恵子(山形市) 佐藤ひとみ(山形市) 奥山 舞(河北町) 菅原 陽子(大石町)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 堀内 智幸(高島町) 瀬川 絵里(尾花沢市) 有路 奈央(大石町)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 幸則(尾花沢市) 井上 夏美(大石町) 岡崎 沙織(山形市)</p> <p>●優秀賞 高橋 悠輝(尾花沢市) 高橋 惇二(寒河江市) 五十嵐政則(高島町) 高橋 生耶(高島町) 柳元 穰(尾花沢市) 高橋 祐樹(尾花沢市) 鈴木奈緒美(尾花沢市) 西塚 孝也(尾花沢市) 野口 聡子(東根市) 高橋 一輝(尾花沢市) 遠藤 美代(山形市) 柏倉 友美(山形市) 松田多恵子(山形市) 樋口 康子(白鷹町) 森 秀人(大石町)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第四中学校</p>	<p>●県知事賞 佐藤 真佑(尾花沢市) 板垣 由香(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 赤塚未奈実(天童市) 奥山 智明(尾花沢市)</p> <p>●優秀賞 五十嵐友明(鶴岡市) 大山 彰(尾花沢市) 折原 亮二(尾花沢市) 土屋翔太郎(尾花沢市) 永沢 将(尾花沢市) 菅 真珠美(最上町) 我妻 孝佳(米沢市) 西塚 葉月(尾花沢市) 大山 宏美(尾花沢市) 山口 陽子(尾花沢市) 五十嵐 悟(朝日村) 田村 久美(朝日村) 金田 夕紀(白鷹町) 佐藤 和郎(白鷹町) 小松 文恵(白鷹町)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 尾花沢市立玉野小学校</p>

第28回	第27回	第26回	第25回	第24回	第23回
<p>●県知事賞 平 理紗子 (高島町) 石山 涼 (最上町) 渡部 沙紀 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 雅生 (最上町) 守岡 雄朗 (鶴岡市) 伊藤 瑞穂 (東根市)</p> <p>●優秀賞 石山 加奈 (最上町) 菅 風沙 (最上町) 伊藤 匠平 (最上町) 渋谷 生帆 (鶴岡市) 清野 真希 (鶴岡市) 今井 大輔 (鶴岡市) 菅井美香子 (村山市) 五十嵐由香 (鶴岡市) 大池 響子 (米沢市) 阿達 大和 (最上町) 稲垣菜里香 (長井市) 土方 花重 (鶴岡市) 南齋 宏駿 (米沢市) 貝田 理沙 (山形市) 宮崎加奈子 (朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 伊藤佐久磨 (朝日村) 小野寺寛貴 (鶴岡市) 菅原 香織 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 睦美 (朝日村) 本間 稚菜 (鶴岡市) 安孫子 郁 (天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香 (高島町) 阿部亜紗子 (最上町) 大貫 秀平 (最上町) 清野 史拓 (朝日村) 佐藤 拓夢 (鶴岡市) 岸 はづき (最上町) 渋井 彩希 (山形市) 二戸 浩太 (最上町) 阿部 貴敏 (最上町) 秋野 寛齋 (鶴岡市) 松田 恵 (南陽市) 川崎 成也 (南陽市) 清野 郁 (朝日村) 中里恵里香 (朝日村) 難波 和宏 (鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 今井 大輔 (鶴岡市) 佐藤 世和 (米沢市) 小野寺千賀 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 水谷ひらり (山形市) 結城 智裕 (最上町) 渡辺真理子 (高島町)</p> <p>●優秀賞 小野寺陽奈 (朝日村) 大場たくや (最上町) 鈴木 玲奈 (高島町) 後藤なつみ (高島町) 志藤 貴俊 (三川町) 大場 麻由 (最上町) 大場 剛 (最上町) 和田真由子 (鶴岡市) 石山 樹里 (最上町) 清野 郁 (朝日村) 佐藤 和磨 (山形市) 清野 優 (朝日村) 清野 舞 (朝日村) 遠藤 晃毅 (朝日村) 井上 寛子 (天童市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 岸 詩音 (最上町) 難波 裕人 (鶴岡市) 佐藤 望 (天童市)</p> <p>●県中央会会長賞 森 麻美 (櫛引町) 佐藤 香織 (山形市) 清野 舞 (朝日村)</p> <p>●優秀賞 今井 大輔 (鶴岡市) 三浦 幸希 (鶴岡市) 酒井 健太 (山形市) 佐藤 大輝 (鶴岡市) 佐藤真生子 (最上町) 齋藤 那千 (朝日村) 阿部 貴敏 (最上町) 小野 翔 (米沢市) 安達 美有 (朝日村) 佐藤 若佳 (最上町) 菅原 香織 (朝日村) 大滝まど佳 (朝日村) 菅原 泰隆 (鶴岡市) 荒井 郁 (山形市) 小林千恵子 (鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>●県知事賞 阿部 将敏 (最上町) 橋本 菜穂 (最上町) 伊藤 明希 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 渡邊 雅正 (酒田市) 阿部 奈美 (鶴岡市) 齋藤芽衣子 (朝日村)</p> <p>●優秀賞 白幡 梓 (鶴岡市) 丸山 里佳 (櫛引町) 田中 麻衣 (山形市) 齋藤 陽一 (山形市) 高橋 真莉 (最上町) 渡辺 大 (南陽市) 加藤 梓 (鶴岡市) 押切 成美 (最上町) 安達 千李 (三川町) 古川 悠 (高島町) 遠藤 俊一 (天童市) 清野 舞 (朝日村) 清和 千秋 (櫛引町) 瀧口 夏子 (天童市) 庄司 千鶴 (朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 本間 明音 (鶴岡市) 渡部 大地 (朝日村) 有賀真紀子 (朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 黒坂 雄志 (最上町) 竹田実穂子 (米沢市) 齋藤芽衣子 (朝日村)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕 (最上町) 岸 詩音 (最上町) 高橋 隆浩 (高島町) 稲葉 彬 (天童市) 近野健二郎 (高島町) 阿部 晴美 (最上町) 小野寺美夏 (朝日村) 大谷部汐李 (飯豊町) 原田 久美 (最上町) 田中絵理加 (最上町) 結城 重則 (東根市) 高橋 愛実 (山形市) 佐藤 牧 (朝日村) 原田 智広 (高島町) 本木いづみ (東根市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>
<p>●県知事賞 笹原 瑞紀 (尾花沢市) 乙坂ひかり (温海町) 高島 絵理 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 蛸井 葉月 (鶴岡市) 難波 紗矢 (朝日村) 板垣 友也 (山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 翼 (最上町) 高野 陽希 (最上町) 木村さえり (鶴岡市) 高橋 龍星 (大石田町) 本間 円 (尾花沢市) 佐藤真理絵 (温海町) 小内 将弘 (尾花沢市) 鈴木 結 (藤島町) 園分 雅哉 (尾花沢市) 須田 琳子 (鶴岡市) 日下部まどか (山形市) 設楽なつみ (山形市) 清野 美香 (山形市) 伊藤 歩 (山形市) 吉田真優美 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 荘司 留加 (尾花沢市) 伊藤 祐太 (尾花沢市) 村上 美紀 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成 (鶴岡市) 須田 雄飛 (鶴岡市) 武田亜沙美 (山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 栞菜 (尾花沢市) 村岡 孝一 (尾花沢市) 有路 杏子 (尾花沢市) 渡部 香菜 (朝日村) 佐藤 史彬 (高島町) 渡辺 大平 (尾花沢市) 菅野 慎也 (尾花沢市) 有路 里香 (尾花沢市) 古瀬 裕真 (尾花沢市) 阿部 貴文 (鶴岡市) 古川 知美 (山形市) 須貝 恵美 (山形市) 高島 香織 (山形市) 椎名 俊一 (山形市) 鈴木 聖美 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>●県知事賞 清野 史拓 (朝日村) 小林 由佳 (山形市) 高島 香織 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 武田 翼 (尾花沢市) 須田 雄飛 (鶴岡市) 小松 恵梨 (山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 奨平 (尾花沢市) 佐藤 奨啓 (寒河江市) 国分 健太 (尾花沢市) 工藤 大周 (西川町) 佐藤 秀太 (寒河江市) 五十嵐 隼 (朝日村) 土屋 赳史 (尾花沢市) 安達 美咲 (高島町) 倉金 侑香 (尾花沢市) 永沢 都 (尾花沢市) 田村 里奈 (山形市) 村上 美紀 (山形市) 須貝 恵美 (山形市) 本田 裕子 (山形市) 長岡亜由美 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 半田さやか (山形市) 菅野 慎也 (尾花沢市) 長嵩 絵理 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 菅 友絵 (最上町) 小野麻里子 (尾花沢市) 齋藤 利恵 (米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 凌 (寒河江市) 岸 英里香 (最上町) 小林 育実 (最上町) 佐藤 拓実 (鶴岡市) 丹野 泰長 (山形市) 須田 雄飛 (鶴岡市) 片岡 勇人 (最上町) 佐藤かおり (山辺町) 大久保 康 (藤島町) 福田紗矢佳 (最上町) 高島 香織 (山形市) 鈴木 綾 (米沢市) 小野友加奈 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南山形小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 熊谷 朋美 (尾花沢市) 渡辺 麻美 (尾花沢市) 佐藤 瑠子 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 須田 雄飛 (鶴岡市) 鈴木 愛香 (寒河江市) 長岡 和美 (山形市)</p> <p>●優秀賞 原田 初美 (尾花沢市) 吉田 龍一 (大石田町) 結城 弘斗 (最上町) 佐藤 成美 (尾花沢市) 船山 達郎 (白鷹町) 土屋 範晃 (尾花沢市) 五十嵐祐大 (鶴岡市) 村井 法子 (尾花沢市) 西尾 円華 (尾花沢市) 岸 貴大 (尾花沢市) 矢口 亜紀 (山形市) 井上 庸 (上山市) 鈴木 裕子 (山形市) 西村 愛子 (山形市) 青柳 悠香 (天童市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立寒河江中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 五十嵐祐大 (鶴岡市) 菅野 瞳 (尾花沢市) 武田 彩子 (山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 西塚 真治 (尾花沢市) 今野 里紗 (鶴岡市) 長野 藍 (山形市)</p> <p>●優秀賞 小林 由典 (白鷹町) 落合 和也 (尾花沢市) 木村 和人 (鶴岡市) 佐藤 綾子 (尾花沢市) 本間 翔太 (尾花沢市) 高橋 茉莉 (最上町) 大山 美幸 (尾花沢市) 赤松かおり (最上町) 工藤 竜也 (尾花沢市) 佐藤 伸也 (新庄市) 鈴木 裕子 (山形市) 友寄 歩惟 (上山市) 庄司美智子 (上山市) 遠藤真理子 (山形市) 遠藤由紀子 (山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立栄小学校 上山市立北中学校</p>

●第28回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領●

1. 趣 旨

このコンクールは、ごはん食や稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらうとともに、次世代の子供たちに稲作農業が果たす多面的な働きとごはん食の重要性、人々とのコミュニケーション作りをはかるために実施します。

また、全国段階のコンクールと並行し、同一趣旨で実施します。

2. 「作文・図画の課題」「応募資格」「応募規格（枚数・大きさ）」「応募規則」

全国段階の募集要領を適用します。

(注) 応募作品は返却いたしません。また、作品の著作権は山形県農業協同組合中央会に属します。

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、さらにお米に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。なお、盲学校、聾学校および養護学校の小学部、中学部も上記の小学校、中学校に準ずるものとします。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙2枚以内)
- 2部 小学校4年生～6年生
(400字詰市販原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙4枚以内)

●図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判(36.4センチ×51.5センチ)相当の市販用紙を使用。画材はとくに制限しません。

※地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- 課題にそった作品を対象とします。
- 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- ひとりで1部門に2点以上は応募できません。
- 図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- 学校で応募の際は、別添の応募者明細表を必ず添付してください。
- 作品には、1点ごとにつぎの事項を記入した応募票をつけてください。(下に見本)つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。

- ①作品の題名 ④学校所在地(郵便番号・電話番号)
- ②氏名・性別 ⑤本人住所(郵便番号・電話番号)
- ③学校名・学年・組 ⑥J A名(農協名)

3. 締切日

平成15年9月30日(火)(必着)

4. 入賞発表

全国発表 平成15年12月上旬
本県発表 平成16年1月下旬

5. 賞

全国審査の全国表彰のほか、本県審査により次の表彰を行います。

- 山形県知事賞
両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から1万円相当の図書券)
- 山形県農業協同組合中央会会長賞
両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から5千円相当の図書券)
- 優秀賞
両部門各部門ごとに5名 計30名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から3千円相当の図書券)
- 学校奨励賞
両部門ごとに2校 計4校
(賞状と山形県農業協同組合中央会から2万円相当の図書券)

6. 審査員

県教育庁、小・中学校教諭、J A山形中央会

7. 応募先

- (1) 県内の各J Aを受付窓口とします。
- (2) 県段階は次に問合わせください。
〒990-0042
山形市七日町三丁目1-16
山形県農業協同組合中央会
(J A山形中央会)
総合対策部総合対策課
「作文・図画募集」係
TEL 023-634-8115
FAX 023-633-1754

8. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予備審査を行い、各部門ごと数点を全国に推薦します。
- (2) 全国審査終了後、全国から返送された作品を含め、本県の本審査を行い、県段階の優秀作品を決定します。

作品の課題		
ふりがな氏名	-----	性別 男・女
ふりがな学校名	立 学校	年 組
ふりがな学校所在地	〒 TEL	
ふりがな本人住所	〒 TEL	
J A名 (農協名)		

(注) 太い線で囲んだ部分は必ず記入して下さい。ふりがなも必ず記入して下さい。

※表紙は、図画3部 農林水産大臣賞 山形市立第九中学校3年 栗野幸智恵さんの作品です。

